

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経変性疾患の遺伝子診断	2人
マンツル細胞リンパ腫の遺伝子検査	1人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	0人
重粒子線治療	367人
RET遺伝子診断	3人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記載。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、H27年度の年間実患者数を記載。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
上皮性卵巣がん・卵管がん・原発性腹膜がんに対するパクリタキセル毎週静脈内投与併用カルボプラチン3週毎腹腔内投与	0人
パクリタキセル腹腔内反復投与療法 胃切除後の進行性胃がん	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	0人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	0人
ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡下肝切除術	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0人
S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記載。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、H27年度の年間実患者数を記載。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	蝨皮症に伴うレイノー現象に対して、ボツリヌス毒素を局所注入する治療法。	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要 蝨皮症に伴うレイノー現象に対して、ボツリヌス毒素を局所注入する治療法。			
医療技術名	精索静脈瘤手術時におけるICG蛍光造影の有用性	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 精索静脈瘤に対する顕微鏡下低位結紮術時にICG蛍光血管造影を併用することで、微細な動脈の温存が可能になる。			
医療技術名	肝悪性腫瘍に対する経皮的凍結療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝細胞癌、転移性肺癌などの肝悪性腫瘍に対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	肺悪性腫瘍に対する経皮的凍結療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 原発性肺癌、転移性肺癌などの肺悪性腫瘍に対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	有痛性骨軟部腫瘍に対する経皮的凍結療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 疼痛を有する転移性骨軟部腫瘍や類骨骨腫などに対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 類骨骨腫に対し、画像誘導下に経皮的ラジオ波凝固療法を行う。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	11	56	ベーチェット病	89
2	筋萎縮性側索硬化症	46	57	特発性拡張型心筋症	56
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	肥大型心筋症	10
4	原発性側索硬化症		59	拘束型心筋症	
5	進行性核上性麻痺	3	60	再生不良性貧血	64
6	パーキンソン病	212	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	1	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	4	63	特発性血小板減少性紫斑病	98
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	10
11	重症筋無力症	147	66	IgA腎症	24
12	先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	5
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	124	68	黄色靱帯骨化症	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	16	69	後縦靱帯骨化症	45
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	56
17	多系統萎縮症	14	72	下垂体性ADH分泌異常症	5
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	71	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	10
20	副腎白質ジストロフィー		75	クッシング病	6
21	ミトコンドリア病	11	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	4
22	もやもや病	66	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	18
23	プリオン病		78	下垂体前葉機能低下症	168
24	亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
25	進行性多巣性白質脳症		80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症		81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	8	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	194
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	22
31	ベスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	15
32	自己貪食空胞性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	
33	シュワルツ・ヤンベル症候群		88	慢性血栓性肺高血圧症	1
34	神経線維腫症	17	89	リンパ脈管筋腫症	9
35	天疱瘡	69	90	網膜色素変性症	30
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	15
39	中毒性表皮壊死症		94	原発性硬化性胆管炎	2
40	高安動脈炎	42	95	自己免疫性肝炎	2
41	巨細胞性動脈炎		96	クローン病	104
42	結節性多発動脈炎	47	97	潰瘍性大腸炎	181
43	顕微鏡的多発血管炎	8	98	好酸球性消化管疾患	10
44	多発血管炎性肉芽腫症	27	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	10	101	腸管神経節細胞減少症	
47	パージャー病	42	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	366	104	コステロ症候群	
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	303	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	74	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	42	107	全身型若年性特発性関節炎	
53	シェーグレン症候群	16	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人スチル病	6	109	非典型溶血性尿毒症症候群	
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー		161	家族性良性慢性天疱瘡	
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		164	眼皮皮膚白皮症	
115	遺伝性周期性四肢麻痺		165	肥厚性皮膚骨膜炎	
116	アトピー性脊髄炎		166	弾性線維性仮性黄色腫	
117	脊髄空洞症	3	167	マルファン症候群	
118	脊髄髄膜瘤		168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	
120	遺伝性ジストニア		170	オクシピタル・ホーン症候群	
121	神経フェリチン症		171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症		172	低ホスファターゼ症	
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症		173	VATER症候群	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症		174	那須・ハコラ病	
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症		175	ウィーバー症候群	
126	ペリー症候群		176	コフィン・ローリー症候群	
127	前頭側頭葉変性症		177	有馬症候群	
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎		178	モワット・ウィルソン症候群	
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		179	ウィリアムズ症候群	
130	先天性無痛無汗症		180	ATR-X症候群	
131	アレキサンダー病		181	クルーゾン症候群	
132	先天性核上性球麻痺		182	アペール症候群	
133	メビウス症候群		183	ファイファー症候群	
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		184	アントレー・ピクスラー症候群	
135	アイカルディ症候群		185	コフィン・シリス症候群	
136	片側巨脳症		186	ロスムンド・トムソン症候群	
137	限局性皮質異形成		187	歌舞伎症候群	
138	神経細胞移動異常症		188	多脾症候群	
139	先天性大脳白質形成不全症		189	無脾症候群	
140	ドラベ症候群		190	鰓耳腎症候群	
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠伸てんかん		192	コケイン症候群	
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		193	プラダー・ウィリ症候群	4
144	レノックス・ガストー症候群		194	ソトス症候群	
145	ウエスト症候群		195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群		196	ヤング・シンプソン症候群	
147	早期ミオクロニー脳症		197	1p36欠失症候群	
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		198	4p欠失症候群	
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		199	5p欠失症候群	
150	環状20番染色体症候群		200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
151	ラスムッセン脳炎		201	アンジェルマン症候群	
152	PCDH19関連症候群		202	スミス・マギニス症候群	
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		203	22q11.2欠失症候群	
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症		204	エマヌエル症候群	
155	ランドウ・クレフナー症候群		205	脆弱X症候群関連疾患	
156	レット症候群		206	脆弱X症候群	
157	スタージ・ウェーバー症候群		207	総動脈幹遺残症	
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	
159	色素性乾皮症		209	完全大血管転位症	
160	先天性魚鱗癬		210	単心室症	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	259		レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	
212	三尖弁閉鎖症	260		シトステロール血症	
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	261		タンジール病	
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	262		原発性高カイロミクロン血症	
215	ファロー四徴症	263		脳腫黄色腫症	
216	両大血管右室起始症	264		無βリポタンパク血症	
217	エプスタイン病	265		脂肪萎縮症	
218	アルポート症候群	266		家族性地中海熱	
219	ギャロウェイ・モワト症候群	267		高IgD症候群	
220	急速進行性糸球体腎炎	268		中條・西村症候群	
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	
222	一次性ネフローゼ症候群	7	270	慢性再発性多発性骨髄炎	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎		271	強直性脊椎炎	4
224	紫斑病性腎炎	1	272	進行性骨化性線維異形成症	
225	先天性腎性尿崩症		273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)		274	骨形成不全症	
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	
228	閉塞性細気管支炎		276	軟骨無形成症	
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)		277	リンパ管腫症/ゴーハム病	
230	肺胞低換気症候群		278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
231	α1-アンチトリプシン欠乏症		279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	
232	カーニー複合		280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
233	ウォルフラム症候群		281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)		282	先天性赤血球形成異常性貧血	
235	副甲状腺機能低下症		283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症		284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症		285	ファンconi貧血	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症		286	遺伝性鉄芽球性貧血	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症		287	エプスタイン症候群	
240	フェニルケトン尿症		288	自己免疫性出血病XIII	
241	高チロシン血症1型		289	クロンカイト・カナダ症候群	
242	高チロシン血症2型		290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
243	高チロシン血症3型		291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	
244	メーブルシロップ尿症		292	総排泄腔外反症	
245	プロピオン酸血症		293	総排泄腔遺残	
246	メチルマロン酸血症		294	先天性横隔膜ヘルニア	
247	イソ吉草酸血症		295	乳幼児肝巨大血管腫	
248	グルコーストランスポーター1欠損症		296	胆道閉鎖症	
249	グルタル酸血症1型		297	アラジール症候群	
250	グルタル酸血症2型		298	遺伝性膀胱炎	
251	尿素サイクル異常症		299	嚢胞性線維症	
252	リジン尿性蛋白不耐症		300	IgG4関連疾患	4
253	先天性葉酸吸収不全		301	黄斑ジストロフィー	
254	ポルフィリン症		302	レーベル遺伝性視神経症	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症		303	アッシュヤー症候群	
256	筋型糖原病		304	若年発症型両側性感音難聴	
257	肝型糖原病		305	遅発性内リンパ水腫	
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症		306	好酸球性副鼻腔炎	

(注) 「患者数」欄には、H27年度の年間実患者数を記載。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療環境体制加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・一般病棟入院基本料	・呼吸ケアチーム加算
・精神病棟入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算
・診療録管理体制加算1	・退院支援加算
・急性期看護補助体制加算	・精神疾患診療体制加算
・看護補助加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料4
・重症者等療養環境特別加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1	・新生児特定集中治療室管理料2
・精神科身体合併症管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・摂食障害入院医療管理加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料2
・医療安全対策加算1	・短期滞在手術基本料1
・感染防止対策加算1	・短期滞在手術基本料2
・患者サポート体制充実加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・人工臓器療法
・高度難聴指導管理料	・歯科技工加算
・喘息治療管理料	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・糖尿病合併症管理料	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・がん患者指導管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・移植後患者指導管理料	・羊膜移植術
・糖尿病透析予防指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・外来放射線照射診療料	・網膜再建術
・ニコチン依存症管理料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・がん治療連携計画策定料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外に係るものに限る。)
・薬剤管理指導料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・医療機器安全管理料1	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・医療機器安全管理料2	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・医療機器安全管理料(歯科)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・歯科治療総合医療管理料	・経皮的中隔心筋焼灼術
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・持続血糖測定器加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・検体検査管理加算(Ⅲ)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・国際標準検査管理加算	・腹腔鏡下肝切除術
・遺伝カウンセリング加算	・生体部分肝移植術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ヘッドアップティルト試験	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの。)
・人工臓器検査	・同種死体腎移植術
・皮下連続式グルコース測定	・生体腎移植術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・光トポグラフィー	・胃瘻増設術(内視鏡下胃瘻増設術、腹腔鏡下胃瘻増設術を含む)
・神経学的検査	・輸血管理料 I
・補聴器適合検査	・輸血適正使用加算
・ロービジョン検査判断料	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・コンタクトレンズ検査料1	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・小児食物アレルギー負荷検査	・歯周組織再生誘導手術
・内服・点眼誘発試験	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・センチネルリンパ節生検(片側)	・麻酔管理料(I)
・画像診断管理加算1	・麻酔管理料(II)
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	・放射線治療専任加算
・CT撮影及びMRI撮影	・外来放射線治療加算
・冠動脈CT撮影加算	・高エネルギー放射線治療
・心臓MRI撮影加算	・1回線量増加加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・外来化学療法加算1	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・無菌製剤処理料	・体外照射呼吸性移動対策加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・定位放射線治療
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・運動器リハビリテーション料(I)	・粒子線治療
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・粒子線治療適応判定加算
・がん患者リハビリテーション料	・粒子線治療医学管理加算
・認知療法・認知行動療法2	・画像誘導密封小線源治療加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・病理診断管理加算2
・医療保護入院等診療料	・口腔病理診断管理加算2
・透析液水質確保加算2	・クラウンブリッジ維持管理料

(様式第2)

7 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 27例 / 剖検率 8.57 %

(注)H27年度の年間実績を記載。